

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域資源活用観光モデルコース開発事業
事業主体 (連絡先)	辰野町 (長野県上伊那郡辰野町中央1番地 電話 0266-41-1111)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア.特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	939,371円 (うち支援金: 704,000円)

事業内容

新日本歩く道紀行100選～森の道～「横川渓谷原生林トレッキング」を観光モデルコースとして位置づけ、観光ガイドボランティアの啓発、現地調査、ワークショップを行いました。

ワークショップの成果を踏まえ、観光ルートマップ(スタンプ帖)の改版増刷と観光ガイド用品の購入を行い、多くの観光客を呼び込むための環境を整備しました。また、民間の旅行社とタイアップして信州DCに合わせて首都圏からの入込客をトレッキングへ集客しました。辰野町観光サイトやSNS(facebook、Twitter)などのインターネットを使った広報を行いました。



【民間旅行社とタイアップして首都圏からのお客様がトレッキングを楽しめました。】

【目標・ねらい】

住民と協働してこのコースの魅力を高め、中央アルプス横川峡の観光地点等入込客数を増やします。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

コースの魅力に掲載したマップをスタンプラリー付の誘客ツールとして、横川峡紅葉祭りを初めとする2回のトレッキングモニターツアーに活用し、中央アルプス横川峡の観光地点等入込客数を増やすことに努めた。

観光地点等入込客数(中央アルプス横川峡)

平成26年 67,700人

平成27年 69,900人

平成28年 76,400人(上社御柱見学者8,000人と推計)

平成29年 68,000人 見込推計値

スタンプ帖の改版増刷と観光ガイド用品の購入により、観光ガイドの啓発を行った。

※自己評価【B】

【理由】

中央アルプス横川峡の観光地点等入込客数の伸び悩みと台風22号の影響による3回目モニターツアー未実施のため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ツールの活用と観光ガイドボランティアの養成など、住民と協働してこのコースの魅力を高め、中央アルプス横川峡の認知度のアップと観光地点等入込客数を増やしたい。

また、来年度のことはあるが、平成30年4月20日に東京で開催される第2回新日本歩く道紀行シンポジウム2018において全国の中から選ばれて、取り組みの成果を事例発表します。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある